

日本植生史学会ニュースレター

No.46 October 19, 2018

第33回日本植生史学会大会のご案内（最終報）

第33回日本植生史学会大会を下記の要領で開催します。

大会参加の申し込みは、学会 Web サイトの「大会情報」(<http://hisbot.jp/meetings/upcomingmeeting>)の『[申し込みフォーム](#)』からお申し込みください。

大会・懇親会の申込期限：10月29日（月）

巡検の申込期限：10月22日（月）厳守

◆ 日時

2018年11月9日（金）午後：幹事会

11月10日（土）午前：評議員会 午後：公開シンポジウム、奨励賞記念行事、懇親会

11月11日（日）一般研究発表（口頭・ポスター）、総会

11月12日（月）巡検（第45回日本植生史学会談話会）

◆ 会場 滋賀県立琵琶湖博物館

〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091 <http://www.biwahaku.jp/access>

アクセス：JR草津駅から近江鉄道バス（約25分）、「びわこ博物館」下車、徒歩すぐ

*博物館行きのバスは、1時間に1本しかありません。事前にバスの時刻表をご確認ください。

*博物館のレストランは混雑することが予想されますので、できる限り草津駅周辺等で昼食を購入の上、ご持参ください。博物館から徒歩約15分の場所に「道の駅」がありますが、近隣にコンビニエンスストア等はありません。

ペットボトル飲料は、館内のミュージアムショップで販売しています。

懇親会：琵琶湖博物館レストラン「にほのうみ」

宿泊：各自でお早めにご予約ください。大会会場周辺には宿泊施設がなく、草津・守山・大津駅周辺にあります。

◆ 費用（当日徴収）

参加費（要旨集代を含む）：一般会員・シニア会員3,000円、学生会員1,000円、非会員4,000円

懇親会費：一般会員・シニア会員6,000円、学生会員3,000円、非会員6,000円

◆ 主催・共催：日本植生史学会（主催）・滋賀県立琵琶湖博物館（共催）

◆ 大会実行委員：山川千代美（委員長）、林竜馬、村上由美子、西原和代、佐々木尚子、那須浩郎

※ 大会に関する連絡先：参加申込や要旨作成などに関するお問い合わせは、大会実行委員会（taikai33@hisbot.jp）までお願いします。

◆ 大会プログラム

2018年11月10日(土) 公開シンポジウム, 奨励賞記念行事, 懇親会

10:30-13:00 受付(ホール前)

大会参加者には、企画展示観覧券をお渡しします。公開シンポジウム前のひとときに、ぜひご覧ください。

(常設展示の観覧には、別途料金が必要です。)

13:00-15:40 公開シンポジウム(セミナー室)

テーマ: 「時空を超えた埋没林・化石林研究の進展に向けて」

オーガナイザー: 山川千代美・林 竜馬(琵琶湖博物館)・辻 誠一郎(東大名誉教授)

趣旨: 鮮新世以降の時代は、日本列島の島弧化が進み、地球規模で起きた寒冷化現象の影響を受けながら日本の植物相が移り変わり、現在の植生を形成してきた。各時代の植生や古環境やその変遷過程を捉える上で、原地性である埋没林、化石林は有効な証拠である。これらは森林の一部がそのままの状態で地層中に保存されたものであり、いわば当時の森林環境を示すタイムカプセルと言える。これまでの埋没林、化石林の研究を見直しながら、時代や空間を超えての研究の進展を考える機会とする。

本講演会とあわせて、開催中の企画展示「化石林-ねむる太古の森」もあわせて観覧いただくことができます。企画展示概要: 地層に眠る化石林・埋没林を通して、動物が生息した太古の森の豊かな生態系や、古琵琶湖から琵琶湖に至るまでの、湖を取り巻いてきた森の様子や移り変わりを紹介します。また、氷期の森の気温を体感して森が変化する自然の仕組みや、縄文時代の温暖な森を利用した人の営みも伝えます。

13:00-13:40 趣旨説明「日本の埋没林・化石林研究の進展と意義」

辻 誠一郎(東大名誉教授)

13:40-14:10 「古琵琶湖層群における鮮新-更新世の化石林研究」

山川千代美(滋賀県立琵琶湖博物館)

14:10-14:20 (休憩)

14:20-14:50 「若狭地域における完新世の埋没木と考古学研究」

小島秀彰(若狭三方縄文博物館)

14:50-15:20 「2つの新しい年輪年代法の登場と日本の埋没林が果たす役割」

箱崎真隆(国立歴史民俗博物館)

15:20-15:40 ディスカッション-今後の埋没林・化石林研究に向けて-

16:00-17:00 奨励賞記念行事(セミナー室)

表彰

記念講演1: 西内李佳

記念講演2: 山本 華

17:30-19:30 懇親会(レストランにほのうみ)

*琵琶湖博物館発 草津駅西口行 19:54分発 最終近江バスに必ずお乗りください。

2018年11月11日(日) 一般研究発表(口頭・ポスター), 総会

*草津駅西口発 琵琶湖博物館行 9:24分発 近江バスにお乗りください。

10:00-11:55 口頭発表B「人と植物の関係史」(セミナー室)

12:00-12:45 総会(セミナー室)

12:45-13:30 昼食

13:30-15:00 ポスター発表(ホール前)

15:00-16:55 口頭発表C「分類・系統, 生物地理」, A「生態, 古生態, 環境変動」(セミナー室)

口頭発表 B「人と植物の関係史」

0-01 10:00-10:15 「茨城県上境旭台貝塚とその周辺における縄文時代後・晩期の植物資源利用」

○能城修一・吉川昌伸・工藤雄一郎・佐々木由香・阿部芳郎

0-02 10:15-10:30 「関東平野中央部における縄文時代の植生変遷と森林資源管理」

○吉川昌伸・能城修一・工藤雄一郎・佐々木由香

0-03 10:30-10:45 「キビのヨーロッパへの拡散の時期と経路 -ウクライナでのレプリカ法データからの考察-

○遠藤英子・那須浩郎・D. Gaskevych・A. Yanevich・M. Videiko

0-04 10:45-11:00 「秋吉台地域に残存する常緑広葉樹林と地下より産出した植物珪酸体化石群」

○渡邊稜也・江口誠一・荒木陽子・藏本隆博・清永丈太・田代 崇・斎藤 雅・山口広夏・岡田直紀

11:00-11:10 (休憩)

0-05 11:10-11:25 「古代から中世の近江における木材利用の変化」

村上由美子

0-06 11:25-11:40 「縄文時代のマメとヒエのドメスティケーション」

那須浩郎

0-07 11:40-11:55 「土器残存脂質分析からみたコーカサス初期農耕民の土器利用」

○宮田佳樹・下釜和也・堀内晶子・宮内信雄・新井才二・赤司千恵・吉田邦夫・西秋良宏

12:00-12:45 総会

12:45-13:00 (休憩・昼食)

13:30-15:00 ポスター発表

A「生態, 古生態, 環境変動」

P-01 13:30-13:32 「モミ属3種(トドマツ, モミ, ウラジロモミ)の花粉生産量の推定-定量的植生復元の基礎資料として-

○斎藤俊彦・高原 光・佐々木尚子・中村琢磨・林 竜馬・杉田真哉

P-02 13:32-13:34 「京都市八丁平におけるクリ(*Castanea crenata*)天然林の花粉生産量-定量的植生復元の基礎資料として-

○森下真衣・三宅悠平・佐々木尚子・高原 光・杉田真哉

P-03 13:34-13:36 「スギ花粉の生産量, 空中花粉飛散量, 堆積量の関係」

清永丈太

P-04 13:36-13:38 「豊橋市自然史博物館所蔵の黒田啓介更新世植物化石コレクション」
吉川博章

P-05 13:38-13:40 「現生メタセコイアの生態-実生の生育-」
○塚腰 実・三井聖子・厚井 聡

B「人と植物の関係史」

P-06 13:40-13:42 「料紙のデンプン粒構成物からみた古文書の起源追跡」
渋谷綾子

P-07 13:42-13:44 「年輪年代学的手法による平城京左京二条二坊十四坪出土木簡の同一材推定」
○星野安治・桑田訓也・山本祥隆・浦 蓉子

P-08 13:44-13:46 「宮古島ミスズマ遺跡の土器圧痕・炭化種実からみたグスク時代の植物利用」
○真邊 彩・千田寛之・久貝弥嗣・小畑弘己

P-09 13:46-13:48 「中国浙江省田螺山遺跡における土器圧痕調査とその成果-Sitophilus 属甲虫の発見-」
小畑弘己・○宮浦舞衣・金原正明・金原美奈子・孫国平

P-10 13:48-13:50 「兵庫県神鍋地域の堆積土壌中の植物珪酸体と微粒炭が示す過去 1 万年間の異なる火入れ
頻度下での植生変遷」
○林 尚輝・河野樹一郎・井上 淳

P-11 13:50-13:52 「南コーカサスにおけるヨモギ属 (*Artemisia* sp.) 利用史」
○赤司千恵・門脇誠二・ファルハド=キリエフ・西秋良宏

P-12 13:52-13:54 「平城宮・京跡における植物利用」
浦 蓉子

P-13 13:54-13:56 「鳥浜貝塚出土木胎漆器の分析」
○蒲生侑佳・能城修一・鯨本真友美・本多貴之・増田隆之介

P-14 13:56-13:58 「武田氏館跡にみる中世の植物利用」
○野本紗英里・佐々木由香・バンダリ=スダルシヤン

P-15 13:58-14:00 「縄文時代後晩期の千葉県市川市道免き谷津遺跡の植生の空間分布」
○岩原こころ・百原 新・工藤雄一郎

C「分類・系統, 生物地理」

P-16 14:00-14:02 「日本産第四紀大型植物化石データベースの公開と今後の利用」
矢部 淳・○植田弥生

口頭発表 C「分類・系統, 生物地理」&A「生態, 古生態, 環境変動」

0-08 15:00-15:15 「日本産カヤツリグサ科スゲ属アゼスゲ節 25 種の瘦果の形態学的分類」
○矢野梓水・百原 新・正木智美・加藤ゆき恵・富士田裕子

0-09 15:15-15:30 「西別湿原にヤチカンバはいつから生えていたか？」
○鈴木三男・吉川昌伸・小林和貴・佐藤雅俊・戸田博史・石渡一人・長谷川 健

0-10 15:30-15:45 「北海道猿払川湿原の形成史」

○紀藤典夫・種市拓郎・清水 歩・野崎 匠・百原 新・矢野梓水・近藤玲介・嵯峨山 積・重野聖之・横田彰宏・田代 崇・井上 京・横地 穰・加藤ゆき恵・富士田裕子・宮入陽介・横山祐典

0-11 15:45-16:00 「琵琶湖眺望真景図」と「琵琶湖真景図」から読み解く幕末期における琵琶湖周辺の里山景観」

小椋純一

16:00-16:10 (休憩)

0-12 16:10-16:25 「古琵琶湖層群の化石林を伴う鮮新世末期植物化石群構成種の現在の生育立地」

百原 新

0-13 16:25-16:40 「神吉盆地堆積物(京都府南丹市)の花粉分析, 大型遺体分析による MIS 3 から MIS 2 への移行期における植生の変化」

○高原 光・河合貴則・百原 新・植村善博

0-14 16:40-16:55 「遺跡の花粉分析から地域スケールの植生史をさぐる-滋賀県の遺跡古生態学データベースに基づく植生景観復元への試み-」

○林 竜馬・佐々木尚子

*琵琶湖博物館発 草津駅西口行 17:29 分発 近江バスにお乗りください。

◆ 巡検(第45回日本植生史学会談話会)のご案内

「琵琶湖と水月湖: 埋没林・化石林と湖沼堆積物研究の最前線」

内容: 琵琶湖には、約43万年間の連続した湖沼堆積物が存在し、花粉分析による氷期間氷期変動に伴う植生史の解明が進んでいる。また、琵琶湖の周辺地域には、約400万年間におよぶ古琵琶湖層群が存在し、湿地林の古植生を詳細に復元することが可能な化石林も多く見つかる。本巡検では、現在の琵琶湖を眺望し、その周辺に存在する古琵琶湖層群の化石林を見学する。あわせて、9月に新たに完成した福井県年縞博物館を見学し、三方五湖周辺地域での埋没林と湖沼堆積物研究の最前線について学ぶ。

案内人: 山川千代美(琵琶湖博)・小島秀彰(三方縄文博)・北川淳子(里山里湖海研究所)

世話人: 林 竜馬, 那須浩郎

日程: 11月12日(月) 8:00-17:00 (集合: JR草津駅 8:00, 解散: JR米原駅 17:00頃を予定)

移動方法: 貸切バス

行程(予定):

8:00 「草津駅西口」でバスに乗車

9:30 安曇川河川敷着

9:30-11:00 堅田層群の化石林と植物化石を見学

12:00 昼食(三方湖周辺)

13:00 三方湖周辺埋没林産出地を見学

14:00 福井県年縞博物館を見学

15:30 三方五湖を出発

17:00 米原駅で解散

参加費：5,000 円程度（昼食代込み）※人数によって変動あり

定員：30 名（参加者が少ない場合には開催できないこともあります。）

申込期限：10 月 22 日（金）（定員に達した場合、期限日より前に締切ることがあります。）

申込方法：学会 Web サイト『[申込みフォーム](#)』からお申し込み下さい。

学会ニュース

● 《重要なお知らせ》 学会事務局の変更について

2018 年度（2017 年 10 月 1 日）より学会事務局が変更となっています。

入会・異動・退会の申込み、バックナンバーの購入、メーリングリストアドレスの登録・変更、メーリングリストへの投稿記事などは、以下の新事務局にご連絡ください。新事務局への移行にあたっては万全を期しておりますが、会員種別等に誤りがありましたら、新事務局にお知らせください。

新事務局：

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12

新宿ラムダックスビル

（株）春恒社 学会事業部内 日本植生史学会事務局

TEL03-5291-6231 FAX03-5291-2176

Mail: hisbot-office01@shunkosha.com

● 会費納入のお願い

2018 年度の会費納入にご協力下さい。

日本植生史学会会費（2010 年度より）一般会員：6,000 円・学生会員：3,000 円・シニア会員：3,000 円・団体会員：8,000 円・賛助会員：一口 20,000 円とし一口以上とする。

会費納付先：郵便振替口座 00980-8-70087 加入者名 日本植生史学会

● 異動・所属変更に伴う会員情報変更のお願い

学生会員及び一般会員の方で、異動、所属変更等がある方は、以下の日本植生史学会事務局にご連絡下さい。

事務局：

● 連絡・問合せ 庶務幹事 鈴木伸哉 〒206-0033 東京都多摩市落合 1-1-4-2 東京都埋蔵文化財センター

TEL：042-374-8044 庶務：hbmian@hisbot.jp 会誌投稿：journal@hisbot.jp

● NL編集 ホームページ・企業広告問い合わせ 広報・渉外幹事 井上 淳 広報・渉外：hbnews@hisbot.jp

● 入会・異動・退会の申し込み、バックナンバーの購入、メーリングリストアドレスの登録・変更、NL発行

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル (株)春恒社 学会事業部内

日本植生史学会事務局

Tel：03-5291-6231 Fax：03-5291-2176 Mail：hisbot-office01@shunkosha.com

● 学会ホームページ <http://hisbot.jp/>